

ATHEISM

A WORLD

WITHOUT

GOD

無神論

創造主（神）のいない世界

仏教の教えの特徴

パツイー・オダ 著、編集

ノーマ・ボンズ イラスト

岡本 十三江 訳

ATHEISM

無神論

A WORLD without GOD

創造主（神）のいない世界

仏教の教えの特徴

パツイー・オダ 著、編集

ノーマ・ボンズ イラスト

岡本 十三江 訳

Copyright 2016

## はじめに

無神論は、創造主の存在を否定しています。無神論者は、創造主である神は不必要であり、その存在を望まないだけでなく、不快でさえあると考えています。不信仰は、愛の創造主である神が彼らの生活のすべての祝福の源である事実を見えなくしています。無神論者は、この世界が創造主の超自然の力で存在したのではないとの考えを終始持っています。それ故、哲学やさまざまな理論を作り上げてきました。

*進化論* — 生命は、神なしにはじまった。

*輪廻説* — 生命は、神なしで回っている。

*人間中心主義* — 人間至上主義、人間は神々である。

*自然主義* — 超自然というものはない。

*汎神論* — すべてのものは、神である

*偶像礼拝* — 物や人を神として拝む

この小冊子は、仏教の教えである無神論の宗教哲学と聖書の創造主なる神を対比して、それぞれの特徴を書き出しています。

## 注意

仏教の教えは、仏教徒の書物である経典、ウェブサイト、所属する寺院、宗派によって異なっています。

神の教えは、聖書の中にあります。聖書は、次の日本語聖書訳から引用しています。 新改訳聖書、リビングバイブル。

## 仏陀の究極的な現実

彼が仏陀として知られる前は、シッダールタ・ゴータマと言ひ、インドのヒンズー教の王子として育ちました。彼は、ヒンズーの神々や儀式、ヒンズー教文化を拒み、強い無神論者になりました。そして創造主なる神の存在に心を閉ざしました。

彼は、ヒンズー教のグル（教師）の下で人生の答えを探求し、自分自身を厳しい断食と瞑想に服従させました。ついに彼のたましいは、真実な人生は如何なるものか 究極の現実 に目覚めさせられました。彼は、すべてのものが一時的な状況のもとにあり、絶えず変化していくものであると知り、宇宙の無限を除いて、すべては空であり永久に続くものは何にもないと「悟り」 ました。それ故彼は悟りに到達した人として、釈迦牟尼、仏陀として知られるようになりました。

## 創造主は現実におられます

神の永遠の力と存在は、ご自身の素晴らしい創造を通して、地上のすべての人間に明らかにされています。神の本である聖書の中で、神はご自身をあらわし、いのちと真理を明らかにしています。

*創世記 1 : 1*— 初めに、神が天と地を創造した。

*ローマ人への手紙 1 : 20*— 神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。

## 創造主の否定

全て無神論者の哲学（教え）は、超自然の創造主なる神の存在を否定した思想が基となっています。

仏陀は、造られた物は何もない、そしてこの世が存在する原因となったものは何もないと教えました。すべてのものは、初めのない過去から存在していたのであって終わりのない輪廻の中で、回転しています。

仏教徒は、素晴らしい生物や不思議な自然を楽しみ、賛美し感謝しますが、大自然を、またその中のすべての生命を創造主なる神と関連づけて考えることはしません。

### 創造主はあなたに語りかけています

あなたは神の静かな語りかけを、自然、心の中に神から与えられている霊的本能、そしてあなたの良心を通して聞くことができます。

*詩編 19 : 1. 2* — 天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。昼は昼へ、話を伝え、夜は夜へ、知識を示す。

*ローマ人への手紙 1 : 19* — なぜなら、神について知りうることは、彼らに明らかであるからです。それは神が明らかにされたのです。

*黙示録 1 : 8* — 神である主、常にいまし、昔いまし、後に来られる方、万物の支配者がこう言われる。「わたしはアルファであり、オメガである。

## 永遠の魂（たましい）の否定

魂は人間の見えない部分であり、一人一人の個性として与えられています。魂は、心と意思と感情からなっています。魂には自由意志があり、人生を自分で選択をしていく責任があります。

究極的な現実の中で仏陀は、すべて変化していく宇宙の営みにおいて人間のカルマ（宿命）を見ました。それぞれ人は流れの水の一滴のようであり、それから離れては何も存在せず個人の「自我」もなければ「永遠のたましい」もないと教えています。究極的な現実の中において「自我」と「たましい」は、単に心の幻影にすぎないからです。

### 創造主はあなたのたましいのお父さんです

神は人間を、ご自身と同じように霊的な存在として造られました。ですから、私たちは霊において神の家族であり、神は私たちのお父さんです。私たちは、目には見えませんが永遠の霊と心を持ち目に見える体を持って生きています。

あなたの命と息は、あなたを愛する神から頂いたものです。

*創世記 1 : 27*— 神はこのように、人をご自身のかたちに創造された。神のかたちに彼を創造し男と女とに彼らを創造された。

*詩編 139 : 13*— それはあなたが私の内臓を造り、母の胎のうちに私を組み立てられたからです。

*創世記 2 : 7*— その後、神である主は、土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで、人は、生きものとなった。

## 計画も目的も否定

無神論の最終的な現実とは、自己の存在を否定しています。それは、人の人生には本来持つべき目的や計画がないからです。人は一時的な肉体を持ち、宇宙の中で他のものに循環しながら、相互依存して存在しています。

人間は、自我を追及する自己中心の存在であり、自尊心、目的達成に支配され、振り回されています。この思い違い（誤解、幻影）が、苦しみの原因になります。しかし、仏教徒の考えは、自己反省や、自我をありのまま受け入れることを通して、「悟りを開いた者」となることが望めます。現実の「自我」はもはや存在せず、解放されていると教えています。

### 創造主はあなたの人生に計画を持っておられます

神は、あなたを一個人として造られました。神は、あなたにユニークな賜物と想像力を与えています。神は、あなたを愛し、あなたの人生に素晴らしい計画を持っておられます。あなたが、神との個人的な交わりを通して成長していくとき —（自己中心な生活から神中心の生活）— 人生の計画を、目的を見出していくことになります。

*エペソ人への手紙 1 : 4* — すなわち、神は私たちが世界の基の置かれる前からキリストのうちに選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。

*エレミヤ書 29 : 11* — わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。—— 主の御告げ。—— それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。

## 神性の存在を否定

仏教徒は、一人で生き、そしてたった一人で死んでいきます。仏陀は、自分が神であるとは一度も宣言していません。また彼の死後、弟子たちもそのように一言も述べていません。仏陀は、基本的に真実に人生を追求し「悟りの境地」に至りなさいという教えです。

仏教徒は、限りある人生を受け入れ、死もまた人の生涯の一部として自然に受け入れるよう教えられています。

### 創造主あなたと共にいたいのです

創造の初めから、神は私たちの父として、人間と親しい交わりを望んでいます。人間の罪のゆえに神との交わりが閉ざされたとき、神はご自分のひとり子、イエスを私たちの罪のために遣わしてくださいました。イエスは、私たちの心のドアを「ノックして」います。私たちの罪を赦（ゆる）し、父なる神との交わりを回復するためです。

*ヨハネの福音書 14 : 6*— わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人父のみもとに来ることはありません。

*ヨハネの黙示録 3 : 20*— 見よ！わたしは戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところには行って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。

*詩編 23 : 4*— たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざを恐れませぬ。あなたが私とともにおられますから。

## 愛を否定

仏教では、人間は「カルマ」と呼ばれる行いの功罪（良い行いと悪い行い）で決まる宿命があります。仏陀の「ししょうたい—四聖諦、4つの聖なる真理」は、どんな良いことでも悪いことでも否定的な「カルマ」につながり、人間をさらなる苦しみ、そして輪廻へと縛っていく欲望であると述べています。愛は人々を、一時的なこの世の物質的な欲望に振り回す否定的な「カルマ」なのです。

- \* 四聖諦 “Four Noble Truths”— 仏教用語で、釈迦が悟りに至る道筋を説明するために、現実の様相とそれを解決する方法論をまとめた4つの真理（苦・集・滅・道）

### 創造主あなたを個人的に愛しています

神はあなたを、個人的に深く愛しています。父なる神は、あなたを救うために、ひとり子イエス・キリストを遣わして下さいました。それは、十字架の上で私たちの身代わりに死ぬためでした。イエス・キリストは、自分の血をもって私たちの罪の代価を払ってくださり、愛を示して下さいました。人生の中で、最も大きな満足は、神に愛されていることを知り、神と人を愛することです。

*詩編 139: 17, 18*— 神よ。あなたの御思いを知るのはなんとむずかしいことでしょう。その総計は、なんと多いことでしょう。それを数えようとしても、それは砂よりも数多いのです。私が目ざめるとき、私はなおも、あなたとともにいます。

エペソ人への手紙 5 : 2— また、愛のうちに歩みなさい。キリストもあなたを愛して、私たちのために、ご自身を神へのささげ物とし、香ばしいかおりをおささげになりました。

マタイの福音書 22 : 37— そこでイエスは彼に言われた。『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』

## 奇跡を否定

無神論者は、自分たちは知的であり科学の知識を持っているので、奇跡や全世界を造られた創造主なる神を信じるのはむずかしいことであると思っています。仏陀は、自然はカルマの掟（因果応報）によって支配されていると信じていました。彼は、奇跡を信じる者は自分の弟子としてふさわしくないとされました。

### 創造主の究極の奇跡は、あなたです

奇跡は、人間には理解できない神の超自然の行いです。あなたは、神から究極の奇跡「生まれ変わり」の体験を頂くことができます。あなたがイエス・キリストをあなたの救い主と受け入れ、罪の身代わりの死を信じる時、この奇跡をあなたのものとすることができます。そのとき、神の聖霊があなたの心に住まわれ、あなたは霊的に生まれ変わり、天国に入ります。まさに、奇跡的に創造主なる神はあなたのお父さんであることを確信し、祈りを通して心から神とお話しができる関係に入ります。

*ヨハネの福音書 3 : 3, 6*— まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。—  
— 肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。

*ヨハネの福音書 1 : 12, 13*— しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。

*マタイの福音書 19 : 26*— 「それは人にはできないことです。しかし、神にはどんなことでもできます。」

## 救いを否定

仏陀は、弟子たちに自分で努力し、頑張って彼の教えに従うことによって救われなさいと説きました。

しかし、仏陀の死後1600年の後、一人の弟子親鸞聖人は、人間は自分の力で己を救うのは不可能であると悟りました。そして彼は、人は救われるために自分の努力ではなく、仏陀の教えの中心の憐れみの仏である阿弥陀如来を信仰することを説き、彼の死んだ後、弟子たちが浄土真宗を発展させました。浄土真宗の仏教徒は、阿弥陀如来を信仰し、彼らが死んだ後、「阿弥陀浄土」に入るのだと信じています。そこで彼らは、仏になります。「仏」になることは、悟りを得たものという意味です。浄土は、場所ではなく、南無阿弥陀仏の誓いを象徴する言葉です。

### 創造主なる神のひとり子イエスはあなたの救い主です

人間の性質は自己中心で罪深いのです。そして良い人であっても救いを努力して得ることはできません。しかし、イエス・キリストの十字架の死のゆえに、人類の罪の代価は支払われたのです。神は、誰でもイエス・キリストを救い主と受け入れ、罪の赦しを求めるなら、罪の赦しと清めを約束してくださいました。神はまた、天国における永遠のいのちを、賜物として約束してくださいました。

*ローマ人への手紙 3:23; 6:23*— すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、罪からくる報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。

## 最後の審判を否定

仏教は、人格を持たない宗教です。仏教徒は、仏陀によって裁かれるのではなく、カルマの非人格的な掟（おきて）によって支配されています。人は死んだ後、自動的にカルマの掟はその人の精神を次の体に移します。行きつく場所は、彼らが生前行った様々な行動が原因で決まります。人は、カルマがその人を輪廻から解放するまで、何千回生きたり死んだりを繰り返すのです。

## 創造主は最後の審判者です

誰でも、一度は死んで、裁かれます。そして永遠に天国か地獄に行きます。神は、イエス・キリストを受け入れて生まれ変わった神の子のために、天国を用意しています。

地獄は、神を憎む悪しき者と悪霊のために用意されています。悲しいことに、多くの人々は、罪の赦しのために十字架で死を成し遂げて下さったイエス・キリストに信頼しないばかりか、この地獄からの救いを必要とせず、また関心すら持っていません。神は、神を求めない人やご自分と永遠に神の国で住まうことを望まない人を、力づくで従わせることはしません。

*ヘブル人への手紙 9 : 27*— 人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、

*ヨハネの福音書 3 : 17, 18*— 神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。御子を信じる者はさばかれない。信じない者は神のひとり子の御名を信じなかったもので、すでにさばかれている。

## 家、家族、肉体を否定

仏教の究極のゴールは、涅槃（ねはん）—（輪廻、欲望、苦しみ、家族や友人、いのちそのものの終わりとする解脱の境地）— に到達することです。涅槃とはその人のカルマがきれいに処理された時、到達されません。人々は、輪廻から解放され、大きな宇宙に消え去って行くからです。人々の体は、灰のようになり存在がなくなります。

## 創造主と神の家族のホーム

天国は、生まれ変わった神の霊の家族のために用意されている神の家です。死んだ後、神の使いは、神の子たちのたましいを天国までエスコートしてくれます。人々は、天国で新しい永遠のからだを持ち、親しい家族や友人と共に住むのです。天国において人々は共に、永遠に栄光ある命を楽しむのです。

父なる神は、すべての人が永遠のいのちを持ち、天国でご自身と暮らすことを望んでおられます。

*申命記 30 : 19, 20*— あなたは、いのちを選びなさい。あなたもあなたの子孫も生き、あなたの神、主を愛し、御声に聞き従い、主にすぎるためである。確かに主は、あなたのいのちであり、

*ヨハネの福音書 3 : 16*— 神は、実に、そのひとり子をお与えになつたほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

*コリント人への手紙 第一 2 : 9*— 目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。

## 著者について

パツイー・オダは、8歳の時イエス・キリストを救い主として心に迎えました。奇跡的に、彼女は創造主なる神が天の父であり、天国は永遠の家であることに気づかされたのです。しかし、彼女の家族は仏教徒であり先祖を大切にして、日本のしきたりや習慣を守り創造主や天国を信じませんでした。家族は、彼女の心の変化を理解できませんでした。彼女の信仰に対する周りからの反対は、50年以上にも渡って仏教とキリスト教の違いを学び、詳しく調べこのような本を書くように導かれる結果となりました。

神の彼女の人生における計画と目的の中には、仏教とキリスト教の根本的な違いを書くことであります。著者の自叙伝、「愛の行方」には、神と共に歩んできた信仰生活が証されています。

## イラストレーター

ノーマ・ボンズは、若い時にイエス様を救い主と信じました。彼女は、神様からの賜物を頂いた文筆家、芸術家、スピーカーです。またワールド・ワイド・ラジオミニストリーA Woman's Special Touchを通して、イエス様にお会いした方々のチャレンジに満ちた人生の証をインタビューして放送しています。

## 訳者について

訳者岡本十三江は、プレアリー・バイブルカレッジを卒業し、アメリカのミズリー州に本部を置く、Christian Women's Clubs の働きに2年就き、女性伝道に重荷を持ちました。Enriched Living Seminar（女性専門のセミナー）の日本語訳にも携わる。